

くまもと県北病院に通院中または過去に通院・入院された患者さままたはご家族の方へ当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2026年 3月 25日

「早期警告スコアを用いた異常の早期発見への取り組みー病棟と連動した重症化予防の標準化を目指してー」に関する研究を実施しています。

くまもと県北病院倫理委員会の審査による承認を得て、上記研究を実施しています。

この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	202604
課題名	早期警告スコアを用いた異常の早期発見への取り組みー病棟と連動した重症化予防の標準化を目指してー
所属（診療科等）	看護部 救急病棟
研究責任者	猿渡 里穂
研究実施期間	2026年4月～2031年3月
研究の意義・目的	救急外来では2025年からNEWSを用いた重症化リスク評価を実施しています。しかし、病棟との共有が不十分で、入院後24時間以内に状態悪化しハイケアユニット治療を要した患者が年間約30名発生しています。評価と行動の断絶が早期対応の遅れにつながっている可能性があるため、NEWSに基づくリスク別対応基準を標準化し、救急外来と病棟が連携して早期察知と重症化予防を図る体制構築を目的とします。
対象となる方	当院を受診後予定外入院となる方
利用する診療記録・検体	診療録情報全般
研究方法	後ろ向き観察研究
問合せ先	くまもと県北病院 73-5000（救急病棟）

●診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

●当院外へお名前や個人情報がでることはありません。

●必要な情報のみを集計します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌で発表しますが、患者さまを特定できる個人情報は利用しません。

●この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了承いただけない場合、またご不明な点については上記問合せ先までご連絡くださいますようお願いいたします。